



## 訪問看護ステーション LeO よりご挨拶



- ・「誰かに話を聞いてほしいな」「誰かに相談したいな」と思うことはありませんか？
- ・「家族にも言いにくいし・・・。」と一人で抱え込んではいませんか？
- ・「体調が悪いな。でも病院に行くのはしんどいし、もう少し様子みよう」と自分で判断されていませんか？

「訪問看護は医療的に必要になった時でいいかな」と思っている方の方が多いと思います。しかし、体調が安定している方でも薬の相談や行政の相談、今後の不安等の悩みを抱えている方は多いと思います。訪問看護ステーション LeO では、そのような悩みを抱えている御利用者様がいつでも気軽に相談できる環境作りに努めています。

訪問しお話を聞くことで、『今必要とする事は何か』と優先順位を考えながら、医療的にあるいは、他専門的と判断すれば、訪問看護師が御利用者様の変わりに他職種に相談しながら、よりいい方法を提案し、常に一緒に考え、利用者様が住み慣れた在宅で安心安全にいつまでも過ごす事ができるようにお手伝いをしていきたいと思っています。

例えば、風邪をこじらせて病院での検査で『肺炎』と診断を受け、入院治療や通院治療になることがあります。入院が長引けば筋力も体力も低下します。

そんな時、病院受診前にいつも見慣れた看護師が主治医に状況を報告し、指示をもらって在宅で採血等の検査をして悪化予防してくれた時に初めて「訪問看護を利用して良かった」と思ってくれるかもしれません。

また、最悪『肺炎の悪化』と診断を受けた時、入院しなくても、通院しなくても、在宅で看護師により点滴を受け、回復した時「やっぱり訪問看護を利用して良かった」と思ってくれるかもしれません。

LeO の訪問看護師は、利用者様と主治医の橋渡しだと思って下さい。

24時間連絡対応もとっていますので、『お守り』と思っていつでも利用して下さい。

また、利用者様への寄り添う看護だけではなく、御家族様の介護支援等も行っています。

週1回30分からでも。2週間に1回30分からでも。私達訪問看護ステーション LeO は、常に御利用者様や御家族様の御意向に沿った訪問看護を提供していきたくと思っています。

訪問看護ステーション LeO はいつでも気軽に相談や提案ができる看護を目指しています。

営業時間 平日9時～17時 電話番号 078-969-5508

## 小倉常務のコラムコラム -「無敵」-

皆さん豆まきはしましたか。2月3日は節分ですね。子供のころはよく家族で豆まきをしました。今年家族全員体調不良で豆まきや恵方巻も残念ながらパスしました。豆まきは季節の変わり目に病気や災害に負けないように鬼に見立てて鬼を追い払うことで、本来は年男が豆をまくとされていましたが、現代ではお父さんがまくのではなく鬼をやることのほうが多いのではないのでしょうか。ところでこの大事な豆まきをしなくてもいい人がいるって知っていましたか。それは「わたなべ」という名字の人です。これは平安時代のお話ですが、酒吞童子という鬼が京都を荒らしまわっておったのですが、そこで登場するのが武将・源頼光という武将の部下の中でも特に優秀だった部下の筆頭で「渡辺綱」わたなべのつなという人物です。酒吞童子やその子供である鬼童丸を退治したりその部下の茨木童子を腕を切り落としたりと、この渡辺さんはめっぽう鬼に強くその名前を聞くと鬼が寄り付かないといわれています。そのためわざわざ豆まきをしないでよいということらしいです。身近に渡辺さんという人がいないので確かめたわけではないのですが、これを読まれた渡辺さんか身近に渡辺さんがいる方はぜひ真偽のほどを教えてください。

## 節分交流会（ひだまりの家須磨妙法寺）



先日デイサービスひだまりの家須磨妙法寺とお隣の保育園で節分交流会を行いました。一緒にゲームをしたり、いつもとは違う雰囲気でもとても楽しい時間を過ごしていただけたと思います。今後も定期的に交流会を行っていければと思います。

